



元旦マラソンに参加する頓原小の子供たち



長島正一議員

Q 若者の定住対策と雇用の創出を A 目標実現のための政策立案で

地方を取り巻く環境が厳しいなか、若者の定住に向けた施策や雇用の創出は急務です。

①若者向けの公営住宅の整備、町住宅用地や空き家の有効活用に工夫を。

②安心して住むための施策として、子ども（一五歳未満）の医療費の無料化。

③安全な食べ物が求められている今こそ、本町の特徴を生かした地場産業創出のため、一点突破での取り組みを。

④これらの施策を進めるため、町民本位の斬新な予算編成を、また、本町の素晴らしさ（自然、農産物、病院・福祉施設の充実等）を知らせる努力が行政の役割では。

山崎英樹町長

①定住化対策として、今後数年間で二十戸程度新築を目標とし、来年度、来島JA跡地に八戸建設します。

また、空き家住宅の町営化や泉州住宅用地に低価格持ち家制度創設など検討します。

②子どもの医療費は、本町独自の制度として、乳幼児の一ヶ月の負担額は、入院二千元、外来千円です。

インフルエンザの予防注射は、十八歳未満千円で接種できるようにしました。

無料化については、宿題とします。

③雇用の創出には、「産業活性化ビジョン」の策定により農林産物等の六次産業化を進めます。

里山コミッションでは、地域情報の発信や本町特産物のネット販売を行い産業振興の役割を果たします。

④予算措置は、事務事業の徹底した整理合理化等により捻出した財源を、緊急の課題である雇用の確保、定住の促進、農林業の振興などの地域活性化に集中的に投入します。

また、本町の素晴らしさをテレビ放映等の活用により情報の発信に努めます。

12月定例会

町政を問う

一般質問

Q 発芽玄米の導入を A 給食の目的を考慮し検討

門 眞一郎議員

「発芽玄米が幼児の脳の発育によい影響を示した」、「記憶力の向上が確認された」として、大学や企業等が研究発表をしています。

一方、発芽玄米を簡単に作れる小型精米機が開発され、家庭への普及が始まっています。

本町では県下でもっともエコ米が生産されており、食味よさと安全性が発芽玄米に適しています。



家庭用の発芽玄米小型精米機

子どもたちの学力向上とエコ米の利用促進のため、この精米機を給食センターへ導入する考えは。

中 稔教育長

学校給食は食育として、「健全な食生活の実現」「食文化の継承」「健康の確保」等が図れるように、食に対する習慣や知識、食の選択する判断力を身に着けるために学習として取り組んでいます。

バランスの取れた食事、正しい食生活、マナーを身に着けるとともに、大切なもの、必要なものを選択する力を身につけることが重要と考えます。

発芽玄米は栄養価が優れており、脳の働きや健康に有効であるとの見解もあり、効果、経費、センターでの作業性等調査し、給食の目的に沿った形のなかで検討します。



Q 獣被害に対して A 町として対策と支援を

永井 章議員

今秋には、イノシシの繁殖により農作物、特に水稲耕作農家に被害が多発しました。

出雲広域農業共済組合では、有害獣侵入防止事業などの助成制度がありますが、町として捕獲奨励補助金など、更なる対策をとるべきでは。被害を未然に防ぐため、共同による集落ぐるみでの対策が必要では。

また、下米島のイノシシ解体処理施設は貯蔵能力に限界があり、加工肉の販路及び消費拡大に向け、町も積極的に協力すべきでは。



手倉のイノシシ解体処理施設

山崎英樹町長

イノシシ被害対策は、効果的な集落ぐるみでの取り組みとなれば、国の事業導入や、中山間地等直接支払制度の活用などの支援を検討します。

また、イノシシ肉の活用では、農業振興、特産品づくりからも、町として商談会への参加、ネット販売など、販売促進活動で支援しています。

駆除については、猟友会に尽力いただいています。捕獲奨励補助などは、実態を踏まえて検討します。

